

# CASBEE神戸ver.2

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

l使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2/CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新長田合同庁舎	階数	地上9F
建設地	兵庫県神戸市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年
建物用途	事務所・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2017年6月27日
敷地面積	3,818 m <sup>2</sup>	作成者	垣口知久
建築面積	2,799 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	19,273 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 3.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 4.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.0

3 CASBEE神戸の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震  Q-2/2.4 信頼性 	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 
<b>配慮の概要</b> バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たす計画としている。		
<b>配慮の概要</b> 耐震設計において「神戸市公共建築復興基本計画」のレベルⅡ施設に求められる構造用途係数(1次設計用: 1.1、保有耐力用: 1.25)を適用し公共施設としての防災機能の確保を図るとともに、「官庁施設の総合耐震計画基準」のⅡ類施設(重要度係数1=1.25、大地震時の変形制限1/100)に求められる目標性能を確保し、大地震時においても人命の安全確保、及び庁舎機能の維持に寄与した。		
<b>配慮の概要</b> 「景観形成ガイドライン」にない、外壁やルーバーには落ち着いた色調を採用し、周辺建物との調和を図った。1階はガラス張りとして地域に開かれた外観とし、2~8階にはルーバーを設置して陰影のあるファサードを形成した。歩行空間に沿って植栽帯や壁面緑化を積極的に設けることで沿道空間の景観向上に寄与した。		
<b>その他の配慮事項</b>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される